

くろつち便り

今月の内容

新年の挨拶(会長)／金曜集会(12/6,1/10)
くろつち旅行(11/12米良)／
くろつち会学習会忘年会(12/1)
くろつち会作品展のDVDをYouTubeに／
米軍はいらない(11/30)／雑録(筆すさび)／
ふくれ菓子作り(迫)／野草折々31死ぶら



↑会報QRコード

組織の強化は喫緊の課題だ！

(会長)
松尾広豊美



2019年参議選と県議選を闘い、会員の頑張りもあって見事当選を勝ち取る

ことができました。くろつち会員の動員力はさすがでした。

しかしくろつちの年間行事を見てみると、参加人数がかなり減ってきています。体調不良や通院・入院等で参加できない場合もあると思いますが。

5月の総会、10月のグラウンドゴルフ大会、11月のくろつち旅行、ダイワで開催された作品展、そして12月の学習会・忘年会とどれを取ってみても参加者がかなり減ってきていま

す。これは毎月行われる役員会にしても同じです。このような状況が続けば、後数年でくろつち会の存続そのものが危ぶまれます。これをどう打破していきましょうのでしょうか？

知恵を出し合い、体制自体も見直していかなければならないのではと思います。

さて今年はオリンピックやパラリンピック、そして鹿児島では国民体育大会が開催され、スポーツの年でもあります。

私たちがアスリート達に負けないように、パワーアップしてしぶとく元気に生き抜いていきましょう。

今年も頑張りましょう。



作品展のDVD



作品展のDVDが出来上がって出品者に配布しました。12月に届かなかった方も、1月には届くと思います。

YouTubeにもアップしました。そのQRコードです。



Part1
会場散策



Part2
絵画写真



Part3
書写俳句



Part4
手芸工夫



Part5
菊・盆栽



Part6
自然編

くろつち便りのHP(アドレスはこの紙面の上部余白に掲載)からでもたどり着けます。可能な方は是非試してください。

11/20 秋の一日楽しみました —うめはな20(土山・米良・箱田・鍋山)

名前の由来は四人の頭文字と、知り合ってから年数です。あちこちの道の駅めぐりや一泊旅行、映画、イベント見学等を一緒に楽しんでいます。

今回のバスでの一日旅、お天気に恵まれて何よりでした。お陰様で「くろつち」の方々といい思い出ができました。当日、解散後に喫茶店で感想を出し合いました。

国道219を逸れ、険しい道に入ってからスリル満点に。ダムみたいなのにワイワイ、ガヤガヤ勝手に喋りまくる。道の駅立ち寄りを切望し、最後に野間さんの判断で都城道の駅で買い物でき満足しました。旅に道の駅は付き物。

昼食の小川四季御膳は十六



種類もの料理で、美しさに感動しました。中でも「イモガラの

煮しめ」がgood。珍しいジビエの「鹿の甘酢あえ」「ゆずみそ」も美味しく、ご飯のお代わりができました。

熊本あさぎり町を抜ける辺り、青空に映える鈴なりの柿に歓声が上がっていました。西米良の色付き始めた柚子もあり、秋の一日を堪能しました。

菊池記念館でのお茶のおもてなしに感謝。漬物が美味しかった。(特に柚子の味噌漬)

山路ホトトギス、ヒメミゾソバ、イイギリ

等々、植物に関する私達の疑問を即解決の飯山Tにも感謝です。

最後に係のお二人、お世話になりました。楽しい一日となりました。



12/8 共助会菓子作り

矢野 務

共助会ふくれ菓子作り 福迫美恵子

24名の参加（くろつち会から6名）で、郷土のお菓子「ふくれ菓子」作り、桜エビと青じその混ぜご飯、さつま汁、豚ヒレ肉の香味焼きの調理でした。郷土料理家で特に「ふくれ菓子」は大好評の郷原ツル子さんの指導で、皆さんてきぱきと進められ、ふんわりとした見事なふくれ菓子が出来上がっていました。並行して調理された3種の料理は全員の楽しいランチタイムとなりました。参加された米良晶子さんは「今日のふくれ菓子作りはとても楽しい時間でした。」

ふくれに酢を入れ忘れて、間違えてさつま汁にニンニクが入ったりとアクシデント続きでしたが、講師の先生が大丈夫よ〜とフォローしてくださいました。現職の皆さんと一緒に出来たことも元気が出ました。来年も計画をお願いします」と感想を寄せてくださいました。



12月8日、共助会による料理教室に参加した。退女教、現職の先生方24名をグループに分け、講師の先生の指導のもと、手分けして作業開始！

ふくれ菓子・桜エビと青じその混ぜご飯・さつま汁・豚ヒレ肉の香味焼き、の4種。その間におしゃべりしながら会話ははずむ。料理前準備がされていたので時間通りに済み、試食。材料を入れ忘れ「あららっ」という場面もあり、楽しい時間だった。これなら家で簡単に作る事ができそうという声も・・・

欲を言うなら、男性参加もあるといいねえという人も。



ふくれ菓子作りに参加して 迫 睦子

日曜日の行事は確認したものの、「申し込みしていない」と思い込み、久しぶりにゆっくりと過ごそうとしていたら、電話で知らされ大慌てで駆けつけました。

「ふくれ菓子だけというのも・・・」先生のご厚意で混ぜご飯、さつま汁、焼き豚、サラダもレシピに加えられていました。

4人1組、1班は退女教会員のみコ順調にスタートしたはずでしたが・・・。出来上がったふくれ菓子は海から盛り上がった平原とヒマラヤ山脈のような形。ぷっつと小さな目が二つ、大きな団子鼻、ほっぺたのような大きめの〇がふたつ、盛り上がったところは裂けて大口を開けて笑っているような芸術作品が出来上がりました。蒸し器が傾いていたせい？後で分かりましたが、えぐみをとるための

「酢」を入れないといけないのに、その酢は「混ぜご飯」を「寿司飯」と間違え、最後まで大事にしていたのです。

さつま汁は、具たくさんで、固いごぼうも柔らかい大豆もやしも一挙に入れる豪快な作り方をしてしまいました。

また、サラダ用のドレッシングを作るのに、ヨーグルトと下ろしニンニクを混ぜようするとニンニクが現つかず・・・。さつま汁に入れてしまっていて「後のまつり」でした。レシピつて、何なのでしょう？

まあ、色々ありましたが、現職中の職種もあてにならないユニークな4人で、出来上がりは上々、見目良く？味良く「終わりよければ全て良し」。4人とも大満足の楽しいふくれ菓子作りで、他のグループ同様「来年もしたいね。」との感想でしめました。

鹿屋に米軍はいらない県民鹿屋集会



11月26日、オスプレイへの給油訓練、そして30日（土）には、県

内各地からも多く駆けつけ、オスプレイやKC130の訓練に反対する集会がイベント広場前で開かれた。

九州各地からも駆けつけてきて、福岡人権環境フォーラムの



前泉さんが「九州ブロックは一つ」と述べ、共に頑張ろうと訴えた。また住民

代表として飯山春男さんが登壇し「11月26日のオ



スプレイへの給油訓練ではKC130が飛んできた時の爆音の凄さで、幼い頃の戦争体験、玉音放送を思い出しました」と述べ、戦争の怖さを訴えた。

その後、市役所までデモをしながら「鹿屋に米軍はいらない」と市民に訴えた。

金曜集会

冬場の金曜集会は夕方の5時からです。12月は6日に、1月は10日に実施。九条の会製作の横断幕が初登場。薄暗くなりかけた街に、一際目立ちました。高齢で歩くのも大変な上山四朗、陸三兄弟も参加

しておりましたが、頭が下がります。次回は2月7日17時からです。



野草折々-31-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ。今回は、

タビラコ (キク科)

春の七草の一つに数えられている「ホトケノザ」のことである。葉は円座形に重なり合って地面に張りついている。その様が仏の台座に似ていることから「仏の座」とも呼ばれる。

(2011年1月8日 雄川溪谷にて)



くろつち会 学習会 報告 内俊朗

12月1日(日)千成本店 野口幸司郎さんの司会のもと、松尾会長の力強い挨拶で元気が出ました。

連帯者挨拶を、大隅支部書記長上山修さん、労金鹿屋支店次長澤田有日子さんからいただきました。

次に松下徳二さんの司会で「くろつち会戦争体験者が語る戦争」と題して学習会に入りました。4人の先生方が講師として登場されました。

4人の方に共通している点は、幼少・青年期の時代を戦争の始まり、軍国主義教育、動員、空襲、食糧不足、終戦、戦後と過ごされたことです。

内容が深く、初めて知ることが多く紙面に載せることが難しいです。まだまだ聞きたいことがあったのですが、30分オーバーで打ちきりでした。

藤井イクエさん

- ・真珠湾攻撃の始まった日に裸足で神社参りをした。
- ・女学生として、日赤の看護婦に憧れていた。
- ・笠野原の基地作りに動員され、



自宅から片道10kmの道のりを、下駄・モンペ姿で往復。

- ・夏の暑い日、水も十分飲めず働かされた。

上山四朗さん

・父から徹底した軍国主義教育を受けた。

- ・学校は兵隊が占領し、勉強ができなかった。

・米軍機の攻撃を受けて防空壕に飛び込み、九死に一生を得た。

- ・軍から農家の手伝いをさせられ、白いご飯を食べさせてもらい嬉しかった。

・体験を元に、小・中学校へ「戦争を語る」講師として活動している。

立元良三さん

・小中の10年間、徹底した軍国主義教育を受けて育った。

・掩体壕、高射砲作りの動員で授業は満足に行われなかった。

- ・高須に250kg爆弾が投下され、大きな穴が開いた。

・機銃掃射、爆弾投下で何度も恐怖の連続だった。

・1945年9月4日、高須海岸に2500人の米軍が上陸した。

- ・終戦後、食糧難・物資不足で、生活はますます苦しくなった。



岩田都詩夫さん

・加治末で幼少期を過ごした。

・軍国主義教育の校歌や軍歌をよく覚えている。

・奉安殿に挨拶しなければいけなかった。

・「米軍は何もしない。山に逃げなくても良い」と一人自宅に残っておられた久保田彦穂(棕鳩十)先生との出会いがあった。

・戦後、教員になり、堂園誠一さん、村山信人さん、池端力さんらに育てられた。

・戦後、教員になり、堂園誠一さん、村山信人さん、池端力さんらに育てられた。

声・感想など

・非常に充実した話で、初めて知ることが多かった。

・一人一人の話をもっと時間をかけて聞きたい。

・鹿屋基地は日本最大の特攻基地、東洋一の規模だったとは初耳でした。

・「モモちゃんとかかね」を初めとして、棕鳩十作品を読み直してみたい。

・現職の関下さんが学習会に参加してくださいました。



忘年会

(報告 野口幸司郎)
 午後の忘年会は37名の参加。
 松尾会長の乾杯の音頭で忘
 年会がスタート。



「それでは今年一年、
 おつかれさまでした。」

4人の講師から

次のようなコメントをいただ
 きました。
藤井さん



戦争のないこの
 時代をいつまでも



川口柳子さんのリードで日教組
 組合歌

森山清美さんメッセージ

4月投票の鹿児島市
 議「森山清美」さ
 んのメッセージ
 を榎園光子さん
 が代読



真島幸則さんのガンバロー三唱



岩田さん・上山さん

徹底した軍国教育で洗脳さ
 れた。年は重ねても反戦平
 和運動を続けていきたい

立元さん

戦争で家族を失った同級生や教
 え子が多数いた。教師になり教
 え子を二度とこんな目に合わせ
 てはならないと決意した

飯山春男さんの閉会の挨拶
 で終了

いつものように多数の仲
 間が2次会場向けのマイ
 クロバスに

会場ではたちまち車座が
 でき、学習会の続きを語り合う
 姿が



筆荒び

○ 会報4ペー
 ジ。行事が多
 いと2頁では
 消化不良に陥
 りそうだし、4
 頁では正直な
 ところ作成はし
 んどい。妻によ
 ると読む方も大
 変という。でも
 まあ何とかかん
 とか仕上がった。
 ○ 宝くじを買
 ったが見事に外
 れ。買うときは
 いつも3千円と
 決めている。6
 千円だと外れた
 ときの痛手を大
 きく感じるし、
 3千円なら外れ
 てもともと、と
 いう気持ちにな
 れるからだ。と

言っても買うのは今回で4回目。
 よく母に「宝くじが当たった
 らヘリコプターを買って、海南
 島や北海道に連れて行く」なん
 て言うと母は声を上げて笑って
 くれたが……。
 ○ 米グレゴリー・カラキ氏
 (憂慮する科学者同盟のメンバー)
 が、トランプが進める米核戦略
 に追従する日本を「日本は被爆
 経験があるのに米国の核戦略を
 支持している。全く理解できな
 い」と批判したという(共同通
 信)。(文責 榎園)

2020.1.18日米共同訓練反対! 軍事演習抗議集会inえびの

日時 1月18日(土)
 13:30~15:00
 場所 宮崎県えびの市
 国際交流センター前広場
 (どなたでも参加できます)
 主催 日米共同訓練反対!
 宮崎・鹿児島連絡会議